【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-520911(P2009-520911A)
【公表日】平成21年5月28日(2009.5.28)
【年通号数】公開・登録公報2009-021
【出願番号】特願2008-546568(P2008-546568)
【国際特許分類】
Ｆ０２Ｍ　37/10　　(2006.01)
Ｆ０２Ｍ　25/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０２Ｍ　37/10　　Ｂ
Ｆ０２Ｍ　25/08　　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月20日(2009.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
(a)燃料を収容するためのタンクと、
(b)キャニスターと、
(c)該キャニスター内に燃料ポンプアセンブリとを備えており、この燃料ポンプアセンブリが、
ｉ．電気モータ、
ｉｉ．該電気モータによって駆動されるように配置されたポンプ、および、
ｉｉｉ．前記電気モータに電力を供給するように配置された電子機器ユニットを含んでおり、
前記電子機器ユニットとキャニスターは、前記電子機器ユニットと前記キャニスターとの間にドライベイを形成するように配置されていることを特徴とする航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項２】
前記ドライベイ内に、ウイットネスドレインが設けられていることを特徴とする請求項１に記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項３】
前記電子機器ユニットは、前記燃料タンク壁の内側表面に隣接していることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項４】
前記ポンプは、前記燃料タンク壁の内側表面に隣接していることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項５】
前記キャニスターは、使用時、一部分が燃料に浸かっていることを特徴とする請求項１ないし４のいずれかに記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項６】
前記燃料ポンプアセンブリは、キャニスター内に取り外し可能に配置されていることを特徴とする請求項１ないし５のいずれかに記載の航空機燃料タンクアセンブリ。

【請求項７】
前記電子機器ユニットは、このユニットを通過する燃料によって冷却されるように配置されていることを特徴とする請求項１ないし６のいずれかに記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項８】
前記モータは、このモータを通過する燃料によって冷却されるように配置されていることを特徴とする請求項１ないし７のいずれかに記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項９】
前記ポンプは、遠隔インレットポンプであることを特徴とする請求項１ないし８のいずれかに記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項１０】
前記ポンプは、ダイレクトインレットポンプであることを特徴とする請求項１ないし８のいずれかに記載の航空機燃料タンクアセンブリ。
【請求項１１】
請求項１ないし１０のいずれかに記載の燃料タンクアセンブリを含む航空機。
【請求項１２】
請求項１ないし１０のいずれかに記載の燃料タンクアセンブリを形成するための部品キットであって、
航空機燃料タンクキャニスターと電子機器ユニットを含み、
前記キャニスターは、燃料ポンプアセンブリを収容するように形作られ、該燃料ポンプアセンブリは、燃料ポンプ、該燃料ポンプを駆動する電気ポンプモータ、および電子機器ユニットを含んでおり、
前記電子機器ユニットは、電気ポンプモータに電力を供給するための高電力制御電子機器を含み、
前記電子機器ユニットと前記キャニスターは、前記電子機器ユニットと前記キャニスターが組立られるとき、前記電子機器ユニットと前記キャニスターの間にドライベイが形成されるように配置されることを特徴とする部品キット。
【請求項１３】
前記電子機器ユニットと共に燃料ポンプアセンブリの少なくとも一部として、一緒に形成されるポンプをさらに含んでいることを特徴とする請求項１２に記載の部品キット。
【請求項１４】
前記電子機器ユニットと共に燃料ポンプアセンブリの少なくとも一部として、一緒に形成される電気モータをさらに含んでいることを特徴とする請求項１２または請求項１３に記載の部品キット。